

関西朝陽同窓会総会開催
される 三島幹事長の来
阪をえて 五十七名が出席
して盛況裡に

関西朝陽同窓会が十一月一日肥後橋の住友クラブにおいて二年振りに開催された。遠隔地よりの出席は従来もほとんどみられないの

で、今回は大阪・京都・兵庫・奈良の四府県在住を対象とした。新制卒業生については十七回卒までに案内状を差しあげた。

昨年福本上一会長（四回卒）が転勤のため東京に行かれて以来会長は欠員のままであるが、関西朝陽同窓会はそれほど組織だったものでもないで世話人が有志の方々と相談して運営してゆき、特に会長をおかないことにしたい旨の毛利・松阪両世話人の提案が了承された。

三島幹事長より朝陽同窓会の近況について報告が行われた。次の機会には母校そのものの出来事や模様についての報告を望む声がかかれた。なお本部よりお祝の金一封が贈られ、ここに深く謝意を表します。

岡部寿氏（一回卒）の音頭により乾盃がなされ懇親に入った。その間、遠山修（十回）、設楽斎（十三回）、景山喬二（十七回）、小崎勇二（新二回）、新野妙子（新七回）、岡茂（新十六回）の各氏より学校時代の思い出などが語られた。

今回の出席者は旧制卒二十五人、新制卒二十八人（そのうち女性五人）で、わずかに新制卒が旧制卒を上回った。次回は新制卒の方々に第二回卒まで案内の対象をひろげる予定であるので、さらに新制卒の出席者が多くなるものと期待している。

最後に「六中健児の歌」並びに「新宿高校校歌」を合唱して八時半散会した。

今後関西における同窓会交流の場として毎年一回開催に努めたいので、運営上の希望があれば世話人又は新制八回田島靖（住友電気工業電子材料事業部TEL〇七二七―八一五―五一一）、新制九回稲田拡一（住友金属工業鋼板営業技術室TEL〇六一二二〇―五七五四）まで御連絡下さい。（松阪記）



旧1回～旧18回



旧19～新7



新8～新16

